



協力伝道週間・祈りの暦

2022年1月30日(日)～2月6日(日)

第46回定期総会（1996年）において「協力伝道週間」が設置されました。互いの教会を喜び、祈り合いましょう。また、協力伝道の働きと「協力伝道献金」目標額を共有し、祈りに覚えてまいりましょう。

■ 1/30・日 〔被災地支援、国内伝道〕

① 東日本大震災三陸沿岸地域の地震・津波に被災された方々に寄り添っていく東北連合の教会の働きが支えられるように。② 東京電力福島第一原発事故による「原子力緊急事態宣言」のもとで、放射能の拡散による健康被害に心痛める福島の方々が、癒され希望をもって生活できるように。③ 全国支援・地域協働プロジェクト（北九州と東京北）のために。④ 各種支援制度を通して、教会活動が豊かに進められるように。

■ 1/31・月 〔国外伝道・国際協力〕

① 国外の働き人を覚えて：野口日宇満・野口佳奈両宣教師（インドネシア）。嶋田和幸・嶋田薫両宣教師（カンボジア）。佐々木和之IMV（ルワンダ）。3月で任期満了となる伊藤世里江AMCと今後のIJCSと連盟の宣教協働を覚えて。② 日本バプテスト女性連合と世界バプテスト祈祷週間献金（21年度目標額4000万円）を覚えて。③ BWA、APBFとの連携（22年9月APBF大会・韓国ソウル）。BWAid、APBAidを通じての支援が用いられるように。継続するコロナ危機の中でアジアと世界で命の安全と生活が支えられるように。④ これからの国外伝道検討のために。

■ 2/1・火 〔青少年、教会教育、教会音楽〕

① **〔青少年〕** オンラインプログラムで豊かに出会うことができるように。2/19：伴走ひろば、3/19：少年少女ひろば／3/20：小羊会リーダーの集い、3/29,30,31：小羊会デイキャンプ（女性連合主催、連盟共催）。22年夏、全国少年少女大会（開催地未定）が開催できるように。
② **〔教会教育〕** 諸教会で、聖書を中心に学びの場が大事にされ、それぞれの工夫が新しい扉を開いていくことができるように。これからも『聖書教育』が皆さまと共に歩んでいくことができるように（2023年4月から月刊化の計画）。
③ **〔教会音楽〕** コロナ危機の経験を通して礼拝と賛美について多くの視点が示され、教会形成に資する対話が豊かに導かれてきた。これらの気づきが大切にされ、礼拝と賛美の再考・再興がなされていくことができるように。



■ 2/2・水 〔宣教研究所〕

① コロナ危機の中、時宜にかなった宣研の働きのために。② ポストコロナを見据え、諸教会の働きに資する研究と研修を担っていけるように（バプテスト研究フォーラム2/7、8）。③ 新任牧師・主事研修会(3/2-5)の参加者と準備のために。④ 運営委員会、宣研スタッフの働きのために。

■ 2/3・木 〔伝道者養成・神学校〕

① 諸教会・伝道所から、献身者が起こされるように。② 西南学院大学神学部・同大学院神学研究科、東京、九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生の学び、教員スタッフの働きのために。③ 全国壮年会連合同奨学金委員会の働きのために。「神学生奨学金献金」（神学校献金）目標額3,000万円が満たされるように。

■ 2/4・金 〔理事会、委員会、監事、総会役員会〕

① 機構改革を覚えて。② 理事会、特別委員会〔靖国神社問題、公害問題、日韓・在日連帯、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、障がい者と教会、財務、回転資金、神学教育、資料保存・管理、ハラスメント対策〕、臨時委員会〔平和宣言推進、憲法アクション、東日本大震災被災地支援、現地支援（3月末迄）、これからの連盟検討、連盟財務諸課題検討、これからの伝道者養成検討、これからの国外伝道検討〕、監事、総会役員会、総会牧師の働きのために。③ 天城山荘のために。

■ 2/5・土 〔協力伝道献金、教役者退職金制度〕

① 「祈りと励ましの標準比率」（2013年第59回定期総会改定）を大切に、協力伝道の働きに祈りを合わせられるように。② コロナ危機で厳しい状況にある教会の必要が満たされるように。回転資金緊急特別貸付制度（コロナ・貸付期間延長2022.4-23.3）。③ 教役者退職金制度の理解が深められ、財源が満たされるように。

■ 2/6・日 〔諸教会・伝道所、連盟事務所〕

① 諸教会・伝道所が祈りで結ばれ、福音宣教の働きが豊かに祝されるように。② 教役者の働きと生活が守られるように。③ 無牧師の教会・伝道所を祈りに覚えて（専任牧師不在：31教会6伝道所）。④ 連盟事務所の働きを覚えて（総務部、宣教部、常務理事室：合計19名）。